

## 「夏休みの宿題と気象」

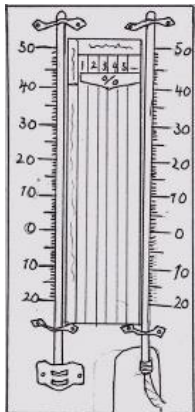
### 【第4回】「夏休みの宿題と気象」

航空気象群ホームページのコラム「気象の杜」にアクセスいただきありがとうございます。航空自衛隊府中基地に所在する中樞気象隊の益田と申します。本来マラソンが趣味なのですが、腰・膝・脹脛痛のため現在の趣味はリハビリを兼ねた散歩です。当面の目標は来年2月の青梅マラソン完走です。

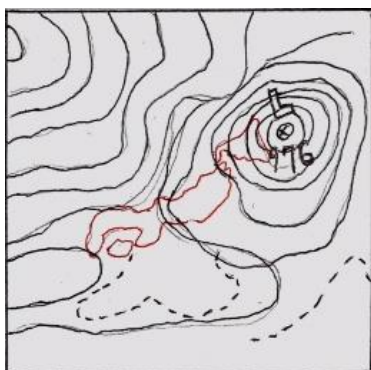
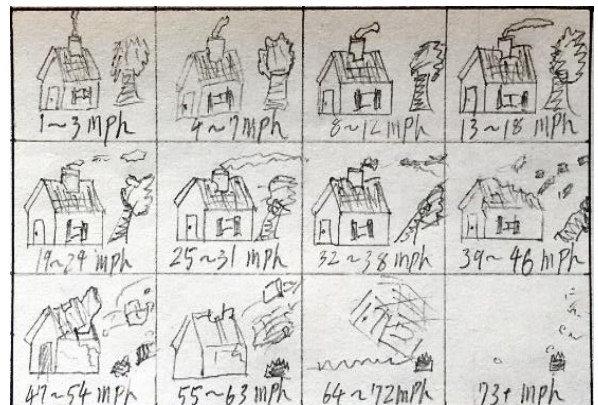
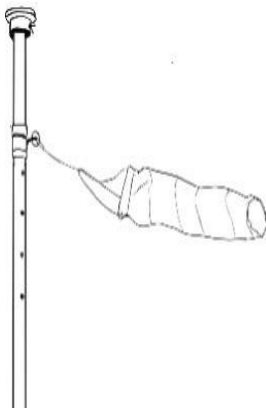
さて、今回のテーマは、「夏休みの宿題と気象」です。

夏休みの宿題といえば私は自由研究を思い出しますが、皆様はいかがでしょう。小学4年生の頃から気象に興味を持ち始めた益田少年は、それ以降の夏休みの自由研究は、気象に特化させました。小4時の自由研究は「気温と湿度の観測」、小5は「風の観測」、小6は「天気図」でした。

小4：3つ年上の兄から教わりながら乾球温度計と湿球温度計を自分で作って観測しました。気温は乾球温度計の値で、湿度は乾球及び湿球温度の差から乾湿計用湿度表から概ねの値がわかります。



小5：近所の空き地に吹き流しを立てて風向を観測し、ビューフオート風力階級表で風速を推定しました。



小6：当初、新聞に掲載されている天気図を切り抜いてスクラップし、空欄に天気や気温を書きました。夏休みの途中で前出の兄から「気象通報」なるものの存在を耳にし、その後は「ラジオ天気図」も手がけました。

このように気象は夏休みの宿題には付きものである自由研究の題材には事欠きません。令和の時代は昭和と違い、気象庁のホームページで様々な気象統計データを閲覧できるので、まさに気象は自由研究の素材の宝庫です。

お子さんが自由研究を何にしようか悩まれているご家庭があれば、気象庁のホームページをご覧ください。お手数でなければ是非、中樞気象隊の見学にいらして下さい。お力になれると思います。さらにお越しいただいた皆様には「航空自衛隊気象特技員あるある」などもご紹介させていただきます。皆様にお会いし、お話しさせていただけることを楽しみに、日夜国防に務めてまいります。